

平成 23 年度 第 1 回内灘町地球温暖化対策地域協議会 議事録

1. 日 時 平成 23 年 7 月 21 日（木） 13 時 30 分～15 時 20 分
2. 場 所 内灘町役場 3 階 301 会議室
3. 出席者 委員 14 名
早川会長、森委員、表井委員、多田委員、西田委員、八田委員、関委員
藤田委員、橋本委員、大笹委員、進藤委員、畠委員、北川委員、堀委員
事務局 4 名
町民福祉部 川口部長、北川環境政策課長、田中副参事、南主事
他 3 名
石川県地球温暖化対策室 新谷課長補佐、(株)NTT 西日本 2 名

4. 内容

(1) 開会（会長）

(2) 事項

①新しい委員の紹介（説明：事務局）

人事異動に伴い 2 名の委員が交代した。

北陸電力(株)石川支店 長谷川委員から進藤委員に交代。

石川県津幡土木事務所 奥村委員から堀委員に交代。

②内灘町の取り組み紹介（説明：事務局）

主に以下の内容について説明。

- ・地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定
- ・地球温暖化対策に関する職員出前講座
- ・エコエネルギーシステム設置費補助金
- ・庁舎内の省エネルギー対策、庁舎省エネ改修工事

③石川県の取り組み紹介（説明：石川県地球温暖化対策室）

主に以下の内容について説明。

- ・いしかわ版環境 I S O 事業（学校・地域・家庭・事業者）
- ・いしかわ版環境 I S O 連携モデル事業（学校・地域・家庭・事業者の連携）
- ・いしかわエコチケット事業
- ・いしかわエコリビング支援助成事業
- ・スーパー家庭版環境 I S O ファミリー認定事業
- ・いしかわ環境フェア、各種セミナー、フォーラムの開催

※いしかわ版環境 I S O の認定地域としての取り組みが評価され、石川県エコギフト事業として、白帆台公民館と大根布公民館が受賞（平成 23 年 3 月 10 日）。

※いしかわ版環境 I S O 連携モデル事業として、県内 5 地区認定のうち、大根布地区が認定（平成 23 年 6 月 29 日）。

④その他

1) 先進地視察（説明：事務局）

視察候補先についての検討を事務局から委員に依頼。

2) 河北潟U F O事業の紹介（説明：事務局、㈱NTT 西日本（システム構築業者））

ソーラー環境センサー等で取得した情報を実際にインターネットで閲覧。

【質疑応答】

Q（委員）

生ごみ堆肥化によって削減されるCO₂量はどれだけか。

A（事務局）

4人家族の場合、年間593.7kgの削減となる。

Q（会長）

グリーンカーテン設置による庁舎冷房費削減効果の算出は可能か。

A（事務局）

可能か調べる。

Q（会長）

エコリビング支援助成事業の一般向け周知を進めてほしい。

A（石川県地球温暖化対策室）

現在はホームページを中心に周知しており、より推進していきたい。制度については一般の方よりも住宅メーカーの方が熟知している。国の制度とも併用できるので、好評である。具体的な助成対象については、県に問合せしていただきたい。

A（事務局）

内灘町のエコエネルギーシステム設置費補助金とも併用できる。

Q（委員）

内灘町の家庭版ISOの認定状況について教えてほしい。

A（事務局）

6月1日現在で288件と聞いており、さらに普及していきたい。

(3) 閉会（事務局）

実行計画をもとに、町として特色ある取り組みを推進していきたい。

閉会後に、河北潟U F O事業について現地視察を実施（蓮湖渚公園）。